寫眞週報

情報局編輯
十月十三日・第二百九十三號・十セン

戰力増强をこの腕に

[illegible] 昭和十八年 [illegible]

至上の命を繊手にうけて
戰地の兄に飛機を兵器を
少しも多く造つて送らう
―この氣持、この決意
汲んで迎へん
職場の長（をさ）たちよ

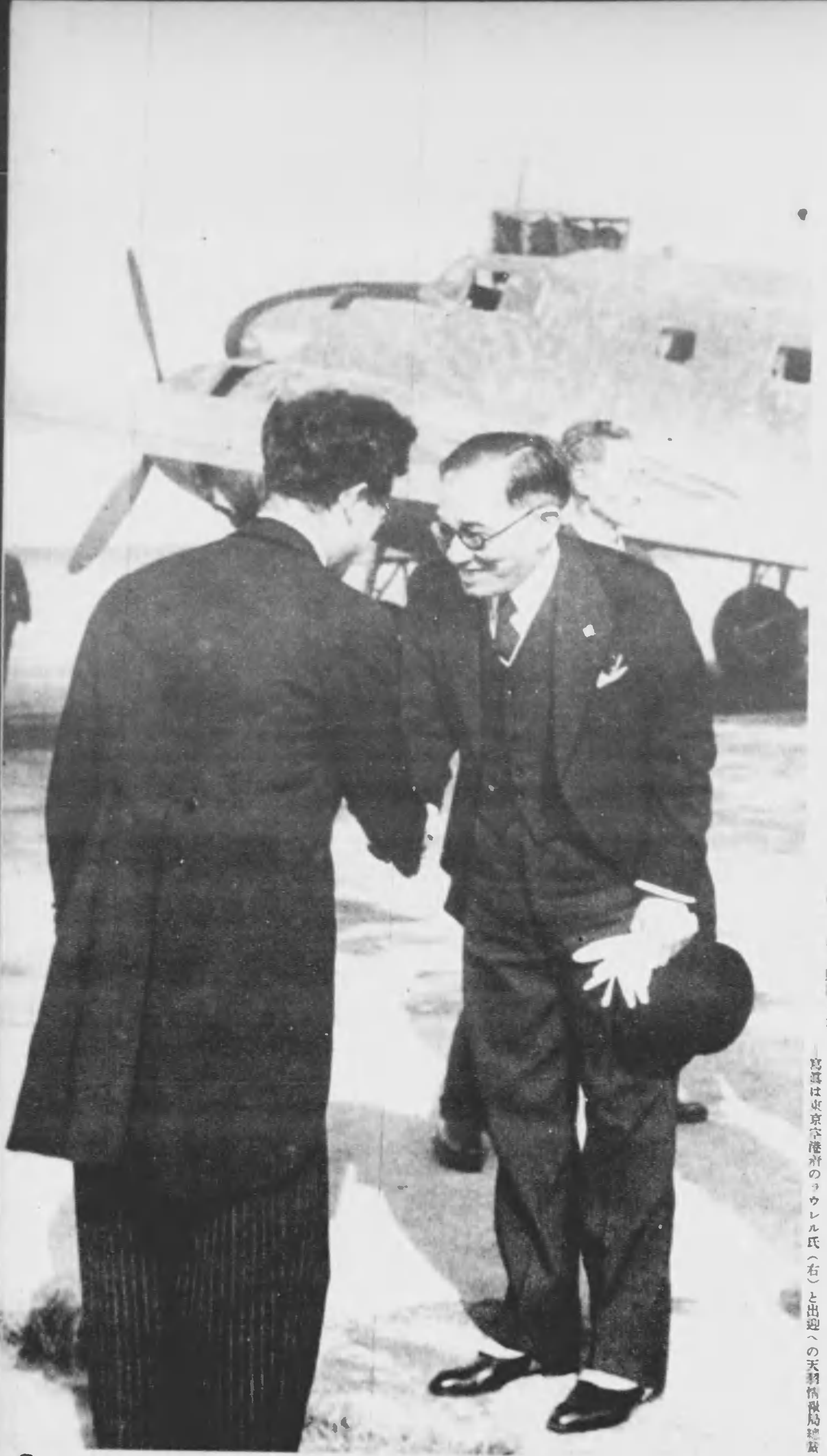
一億戰鬪配置につく秋に

「時の立札」は他へ轉載その他に御利用下さい

榮ある比島独立を前に
独立準備委員長
ラウレル氏一行來訪す

帝國政府の招きに應じて來訪の比島獨立準備委員長ホセ・ピー・ラウレル氏、獨立準備委員ホルヘ・ビ・バルガス氏、同ベニグノ・エス・アキノ氏の一行は九月三十日空路恙なく東京空港着、入京した

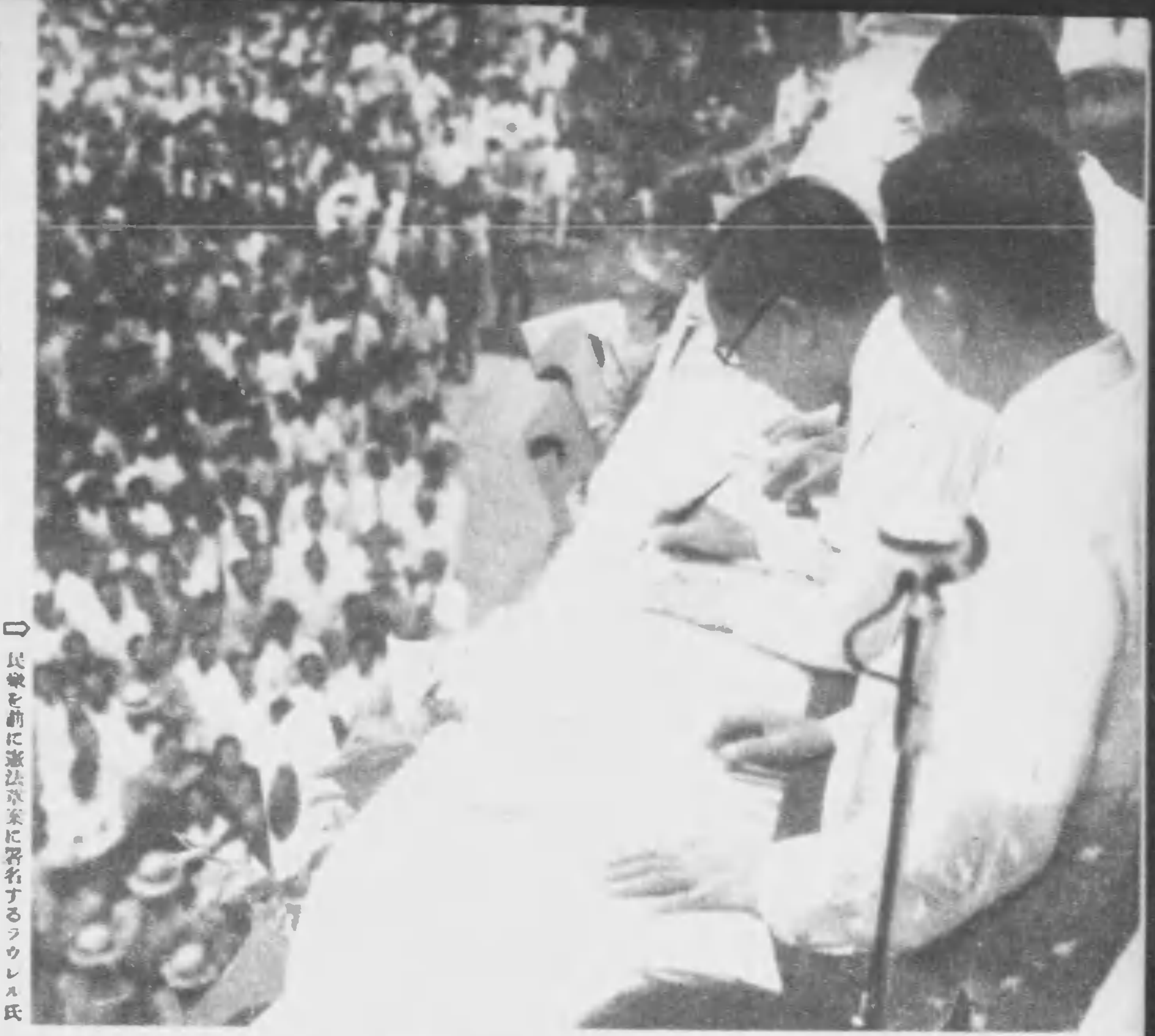
本年中に獨立の榮譽を公約する帝國聲明に應へて比島では、さる六月二十日ラウレル氏を主班とする獨立準備委員會を設置して鋭意その準備を進め、九月七日國家創建の基礎をなす比島憲法草案の決定、次いで九月二十五日國民會議満場一致を以てラウレル氏が初代大統領候補に當選、こゝに比島獨立の基本的な要件は殆んど完備するに至つたので、ラウレル氏一行は獨立を前に來訪、獨立準備その他について、東條内閣總理大臣はじめ要路の人々と協議をとげて歸國した



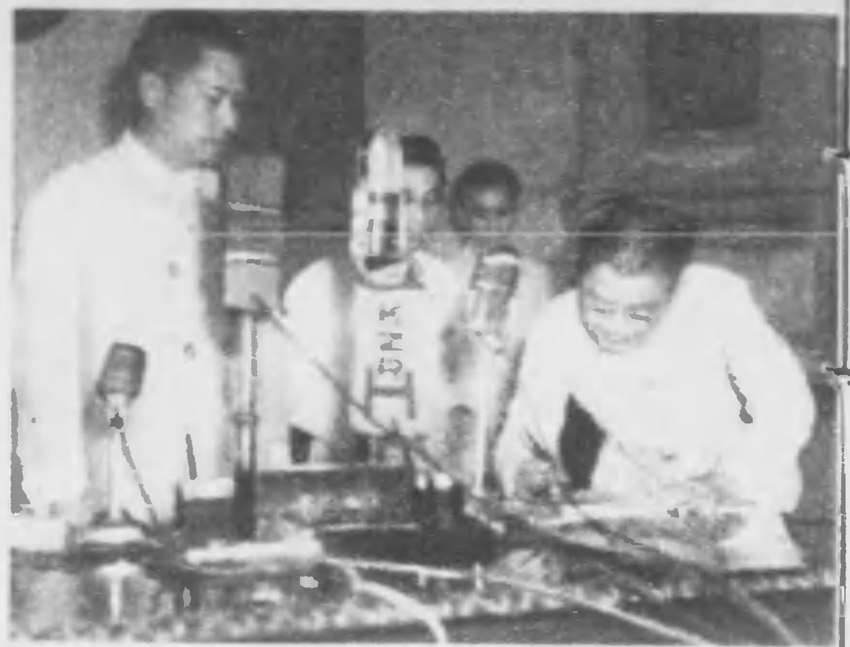
―寫眞は東京空港着のラウレル氏（右）と出迎への天羽情報局總裁

榮ある比島独立を前に

比島憲法草案決定の日



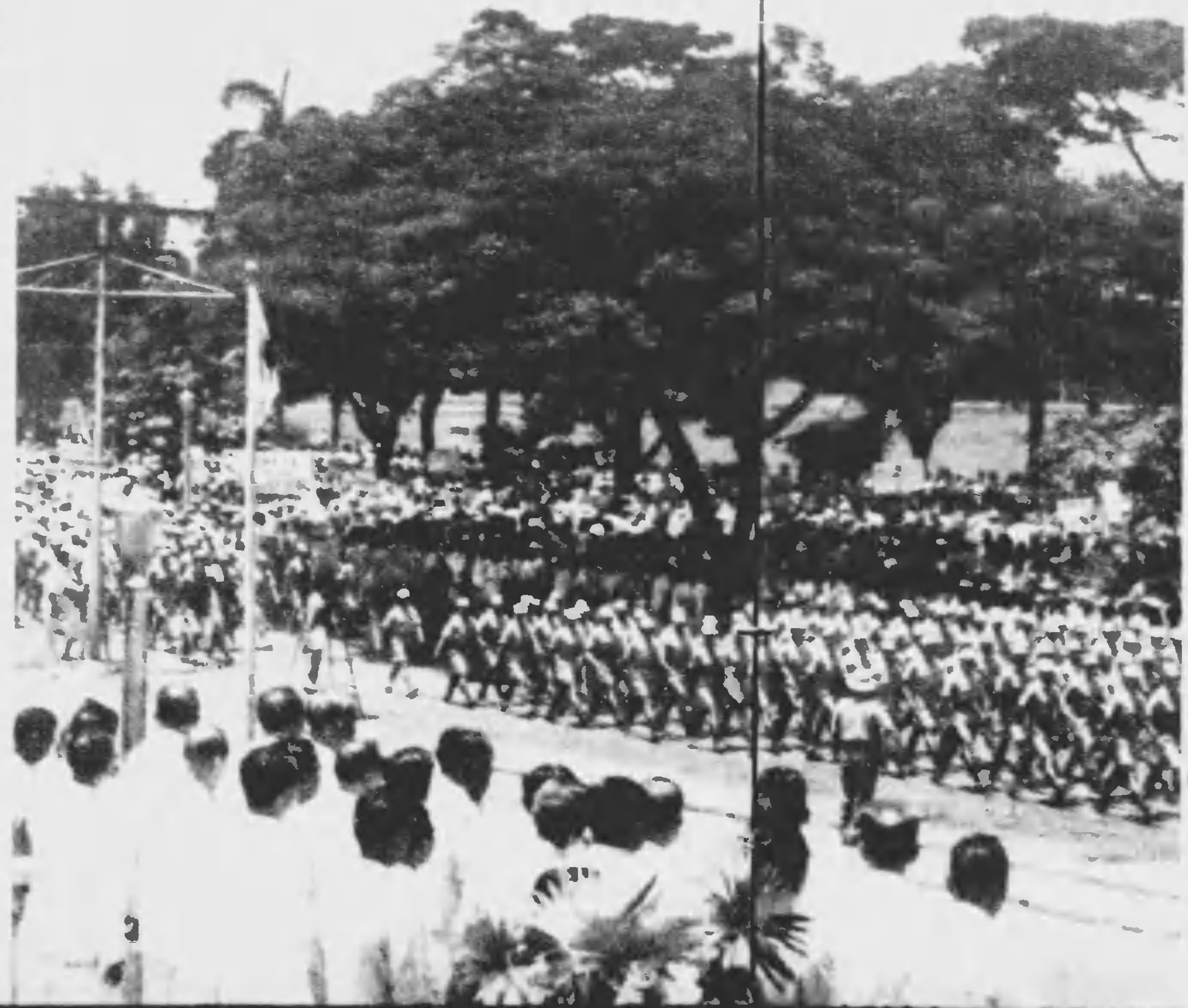
⇨ 民衆を前に憲法草案に署名するラウレル氏



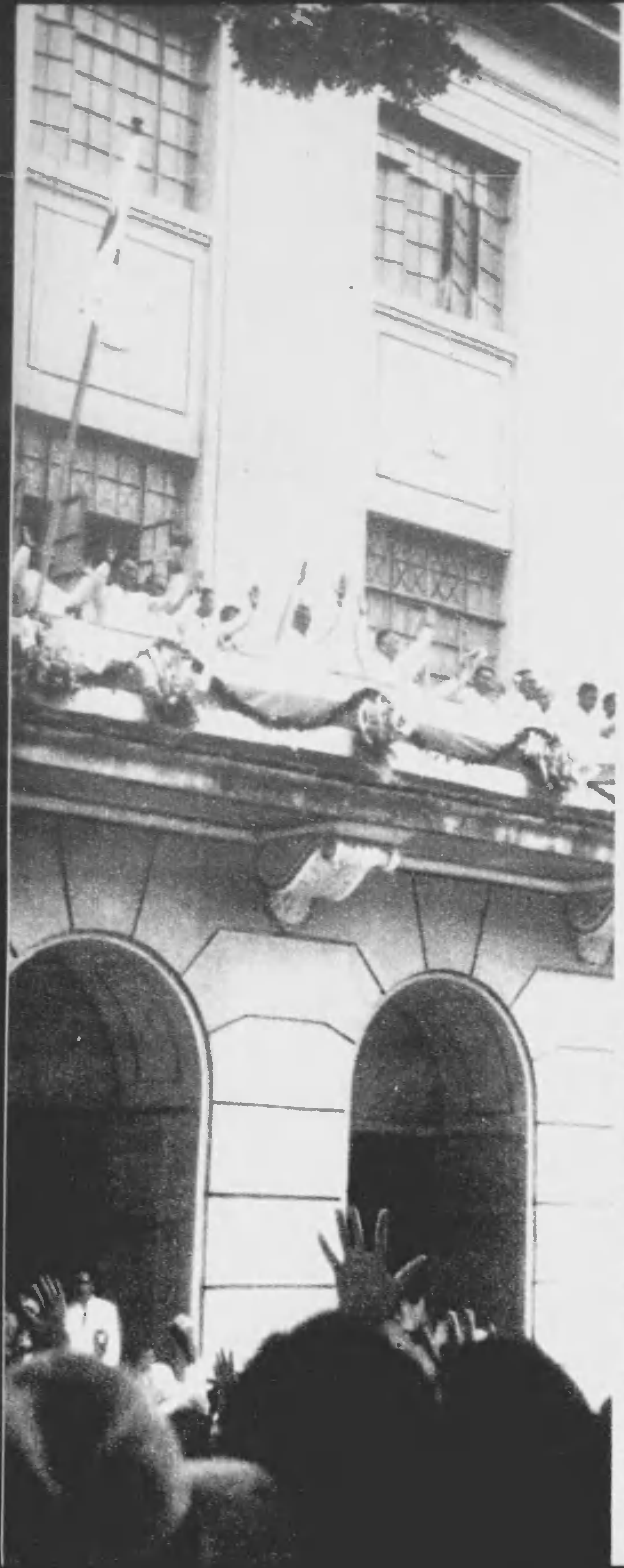
⇦ 憲法草案に署名の獨立準備委員（向つて右からアギナルド將軍、セバスチヤン書記長、アキノ第二副委員長）

ラウレル委員長以下二十名の比島獨立準備委員會委員が二ヶ月餘りの血のにじむ努力によつて完成された比島憲法草案は、去る九月六、七日の兩日に亘り、マニラ市國會議事堂において開かれた比島獨立準備委員會委員、行政府要人、並びにカリバピ各地代表よりなる特別全島代表者會議によつて滿場一致承認され、正式にその決定をみた。かくて、さる六月東條總理の重大聲明以來僅かに三ヶ月、わが強力なる支援と比島民衆の獨立への熱意によつて、早くもここに比島再建への輝かしい第一段階を劃したのである

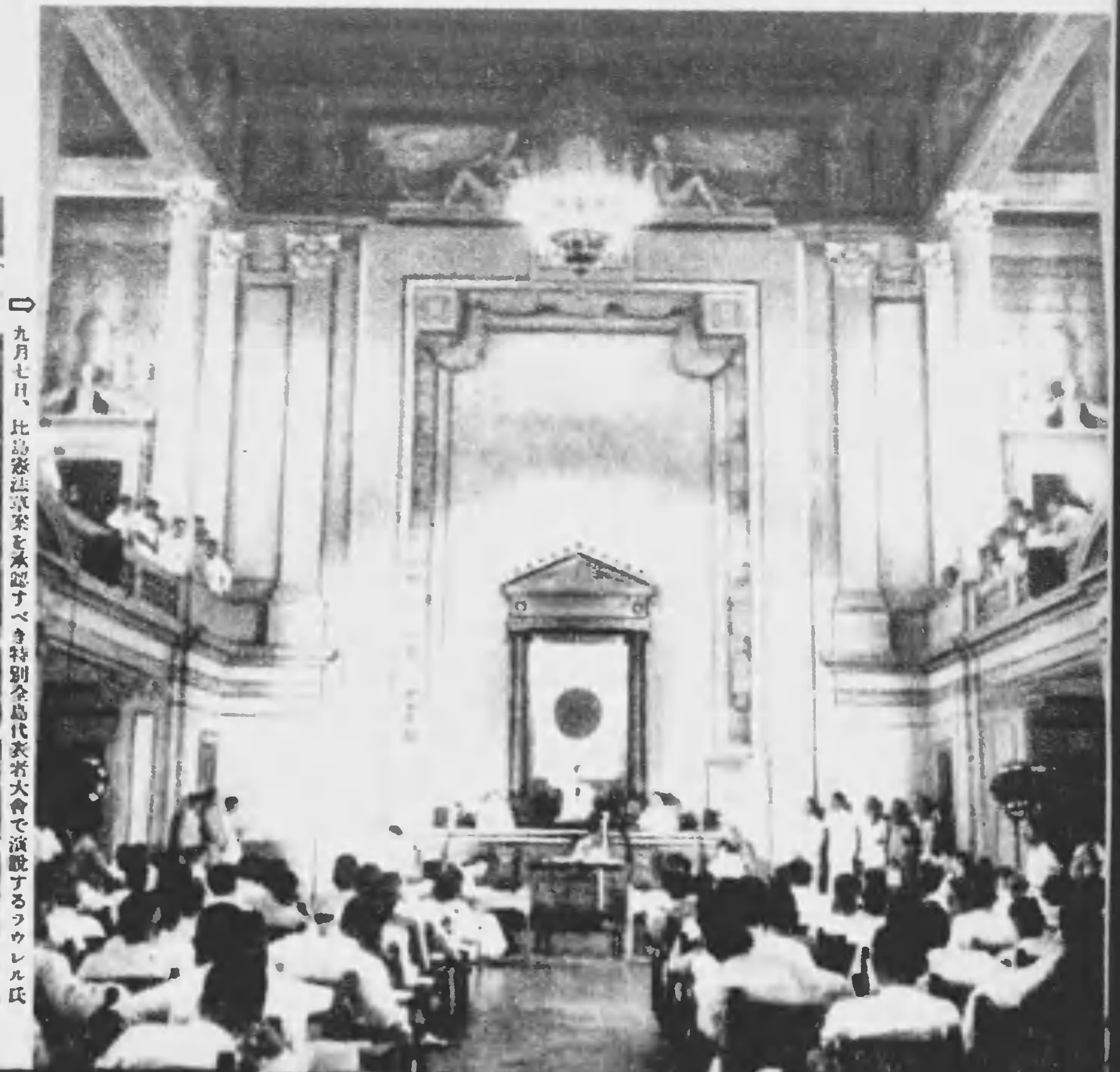
會議第二日、承認決定を前にしてラウレル委員長は堂々一時間以上にわたる演説を行ひ、比島獨立に寄せられてゐる帝國の厚意を深く謝すと共に『獨立後は、比島人は再び外國旗を己が國旗にすることはないのだ』と力強く結んだが、喜びに沸く國會議事堂を中心に、全比島を蔽うた『新比島建設の歌』と歡呼こそ、明日の獨立と共に共榮圏の一員としてあくまで大東亞戰爭を戰ひ拔く決意を十分窺はせるものであつた



輝かしい獨立を目前に新生比島の意氣を示す民衆の大行進　手前は獨立準備委員 ⇩



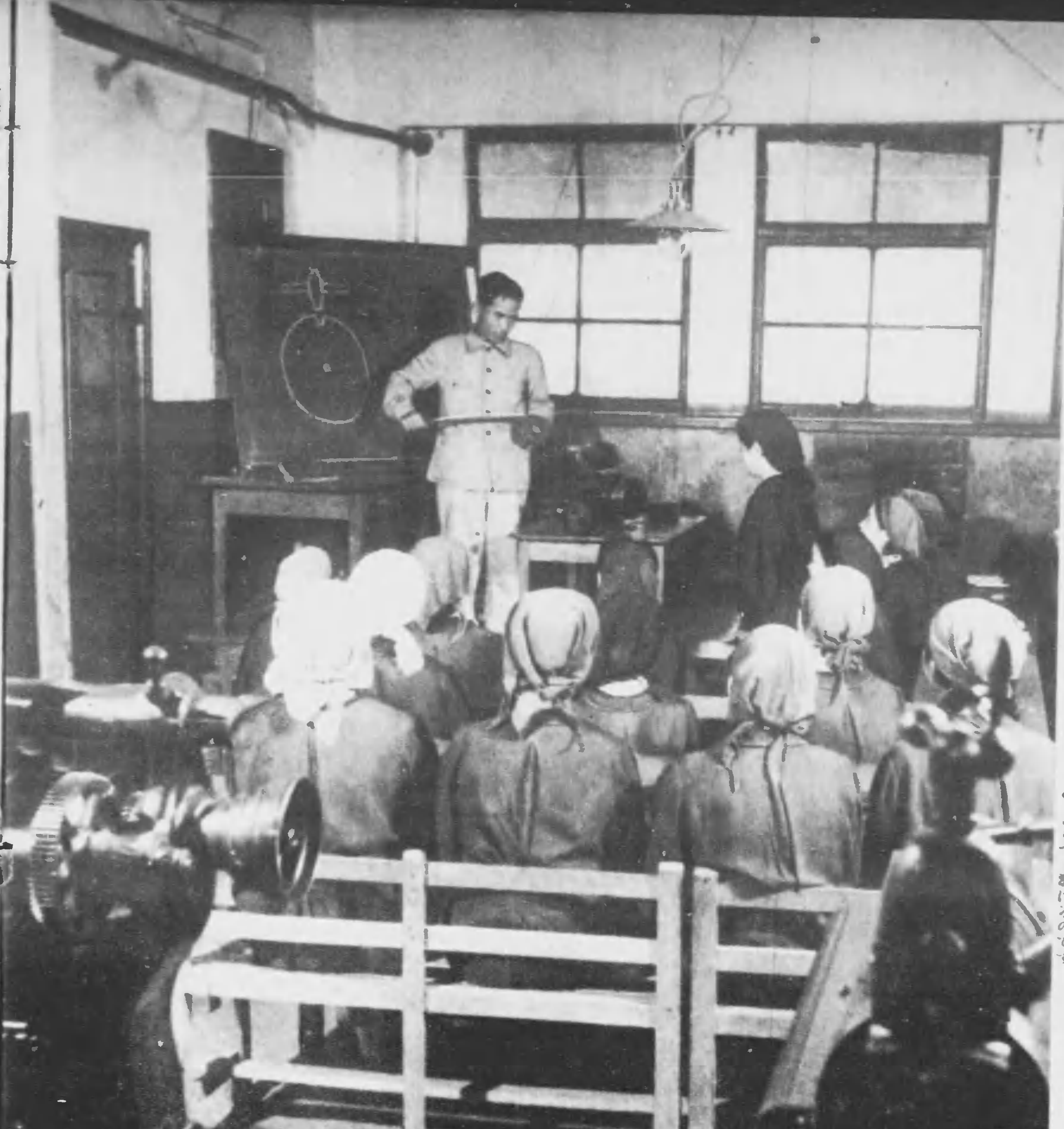
⇦ 署名を完了し、露臺に、廣場にあがる感激の萬歳



⇨ 九月七日、比島憲法草案を承認すべき特別全島代表者大會で演説するラウレル氏

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

職場への進出にはまづ技術を



女子機械工補導所　東京

⇦ こゝは實習場創教室です。機械の構造、性能、その扱ひ方を、黒板と實物とを同時に見比べ、手にとりつゝ教はるのです

⇨ 仕上げ作業の一つであるやすりかけ、たがね打ちの實習。先生が一々親切に教へてくれます

女性はすべて戰鬪配置に——前線へ、生産の第一線へいでたつ男子のあとをまもり、また自らも生産の第一線へ敢然挺身しようと固く決心された女性は、俄然ふえたことと思はれます

しかし、さて、職場、殊に機械工、製圖工など、技術を要する工員として職場に進出しようとするには、まづ技術を習ひおぼえることが必要です。會社、工場などにいきなり見習として入り、技術を教はるといふ方法もありますが、政府はみなさん方のために直營の女子機械工補導所、女子職業補導所を設け、いろいろな特典を與へて技術を教へてゐます。けなげな決心をされたみなさん方は、是非この機關を利用して、まづ生産戰士、職業人としてのしつかりした基礎をきづいて下さい

國營の女子機械工補導所は現在のところ、東京都神田區鎌倉町二ノ一にある東京神田橋女子機械工補導所と、名古屋市千種區花田町三ノ一五にある鶴舞女子機械工補導所の二個所で、入所資格は滿十六歳以上、國民學校初等科卒業程度以上、補導期間は三ケ月で、旋盤、仕上げ、製圖等の技術及び學課を修め、機械工としての基礎訓練をうける。申込は隨時、授業料は無料、入所期間中手當が支給され、器具、材料、作業服等は貸してもらへます。志願者は最寄の國民職業補導所に申込めばよい

この他、東京電話交換手補導所、大阪府女子機械工補導所（府營）、木工、製圖事務（珠算、簿記等）などを教へる東京神田橋職業補導所、岩手縣女子職業補導所、長崎縣佐世保製圖補導所など、そのほか全國各地にみなさん方のための補導所が設けられてゐます。詳しいことは最寄の國民職業補導所でお尋ね下さい

職業補導所ではタイプライターも教へてくれます

事務員、殊に銀行、會社の事務員として立つには珠算が一番大切です。傳票をめくりめくり、早く間違なく

東京神田橋職業補導所

⇧ こんな兵器、どんな機械をつくるにも、まず製圖が必要です。しかもその製圖には女性が非常に適してゐます。この女性の中には某美容院につとめてゐた人もゐます

⇦ 旋盤の實習です。正確に削らうとみんな一生懸命です

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

職場への進出にはまづ技術を

女子理容師補導所

—東　京—

バリカンの使ひ方も基本訓練から——右頁右

⇨手つきはもう一人前だ。チョキ〳〵〳〵快い鋏の音が教室いつぱいに

⇨生理衞生や精神訓話、●鍛錬等の學課の間には、働く乙女に樂しさを失はせまいと、合唱の時間も——

女手でできる仕事は何でも私達の手で、と男子從業禁止と女子の勤勞動員が發令されてから、全國女性の職業戰線參加の熱望はすさまじいほどに燃え上り、官廳、會社等の事務補助者に、鐵道職員にと各方面の職場へ續々と志願者が殺到してをりますが、東京都の深川皆働斡旋所の女子理容師補導所には、來年三月限り從業禁止になる男の床屋さんに代つて、殿方の理髪は一切引受けようと、鋏やバリカンを手に立ち上つた娘さん達が、技術に、學課に、鍛錬にと腕きゝの先生達に指導され、せつせと腕を磨いてゐます。鋏をハンマーにかへて、剃刀を旋盤のバイトにかへて、男の方々よ、安んじて新らしい職場に就いて下さい

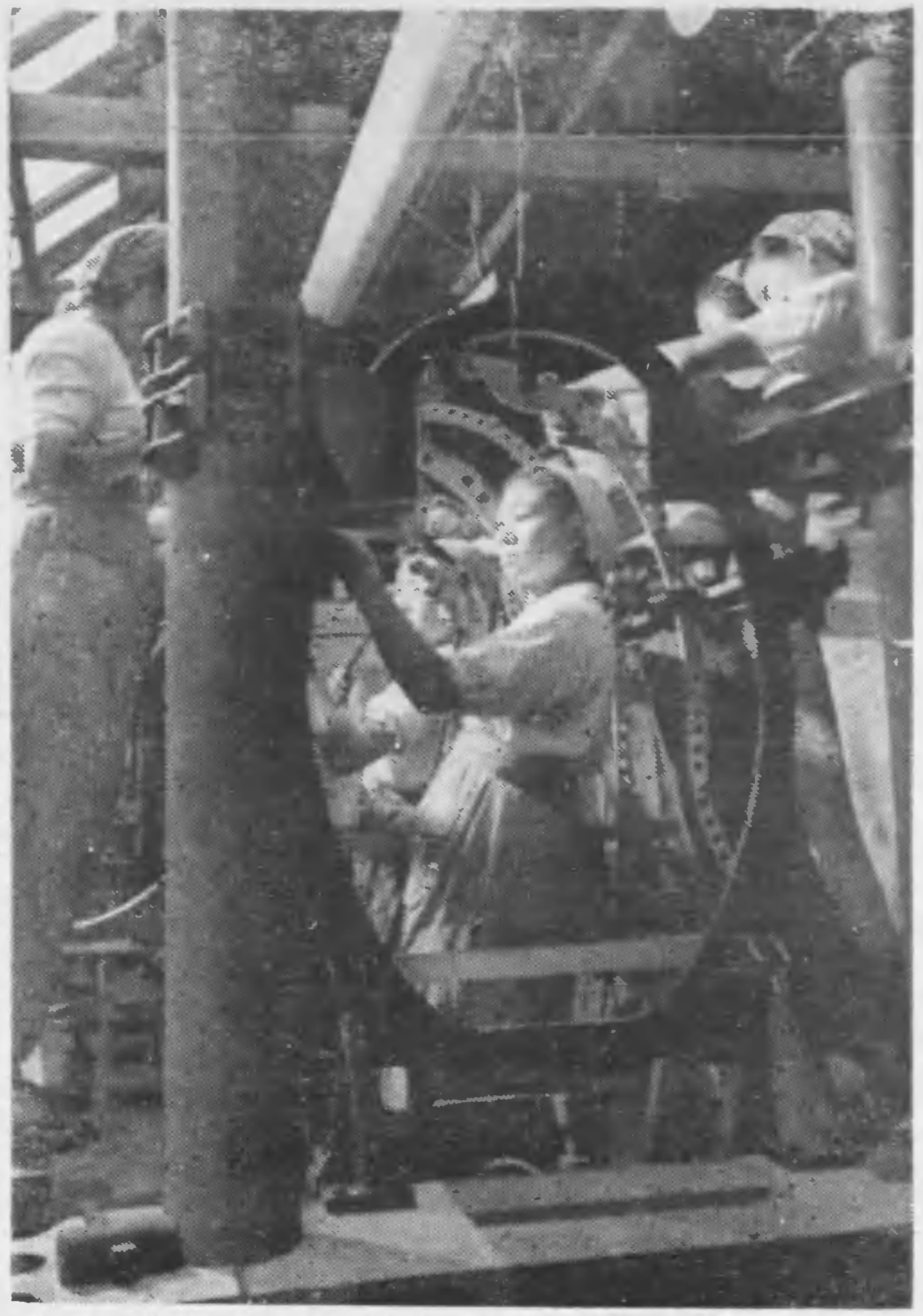
⇧どうにか鋏も動くやうになつた。今度はタオルをかぶつた先生の頭で刈込のお稽古

⇦基礎練習も終つた。もうこれなら大丈夫、●とお客さんの頭を——先生が急所々々をこまかく注意して下さる。●さあ、もうぢき一人前だ

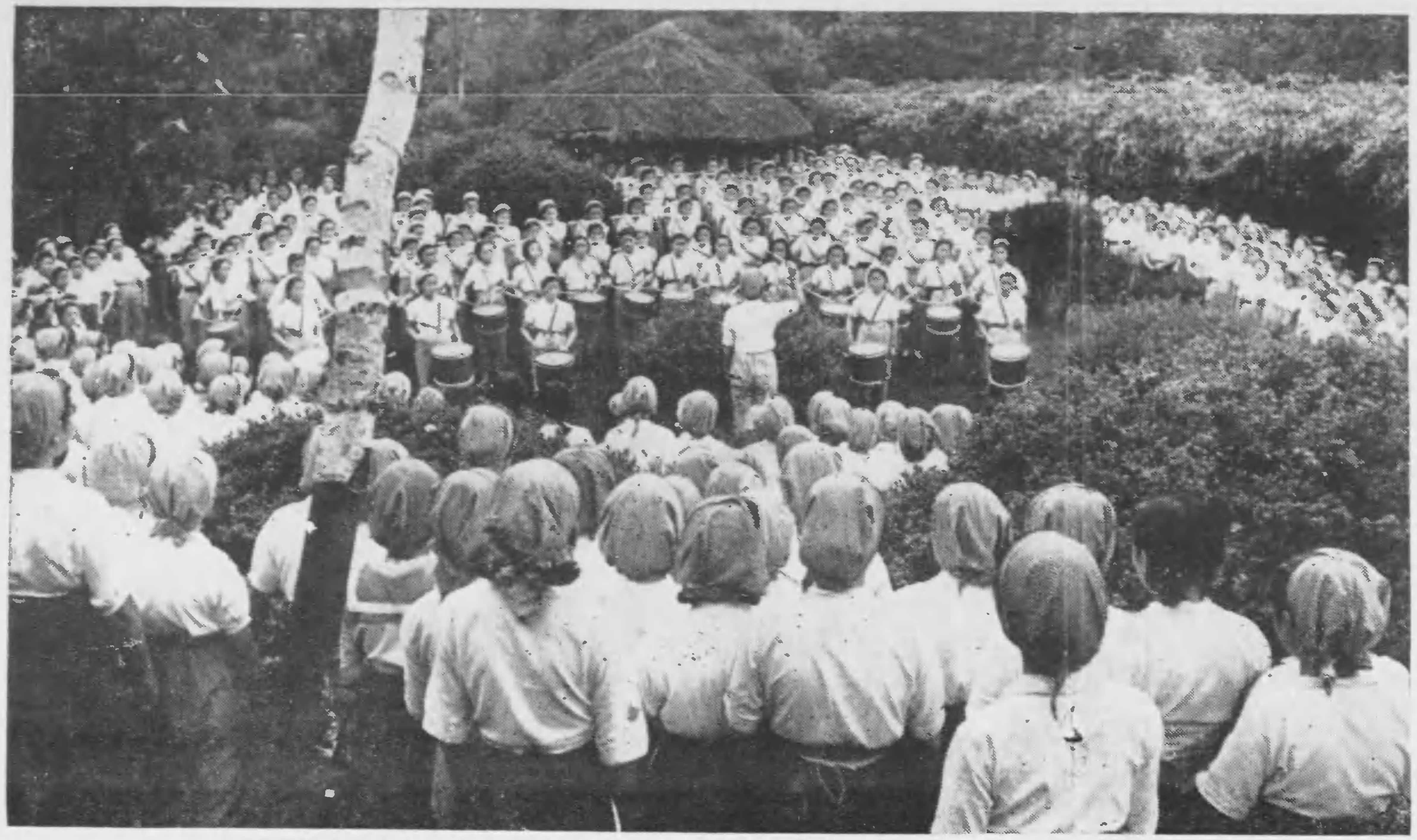
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

働く女子には温い思ひやりと設備を

片倉製糸〇〇航空機製作所

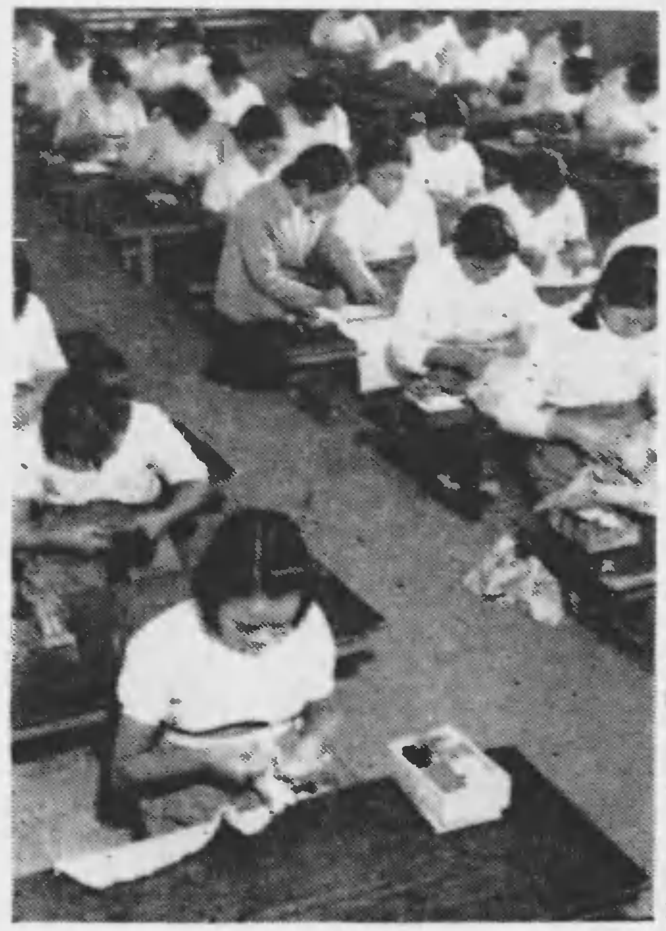

二　私たちが造つた飛行機で敵都を空襲して貰はうと女子工員の意氣込はひとしほ

一　飛行機になくてならぬヒマの採集は愉しい閑暇の時間に……


男子工員の出征には百三十名の鼓笛隊が[illegible]して[illegible]ます

白樺の茶室に作法も正しく、茶道と古典に傳統を學ぶ

十五疊に六、七名が起居する、生花もいけてある和やかな寮が乙女の憩ひ場所だ


親切な先生に教へられて、もう今では着物の仕立も一人前だ

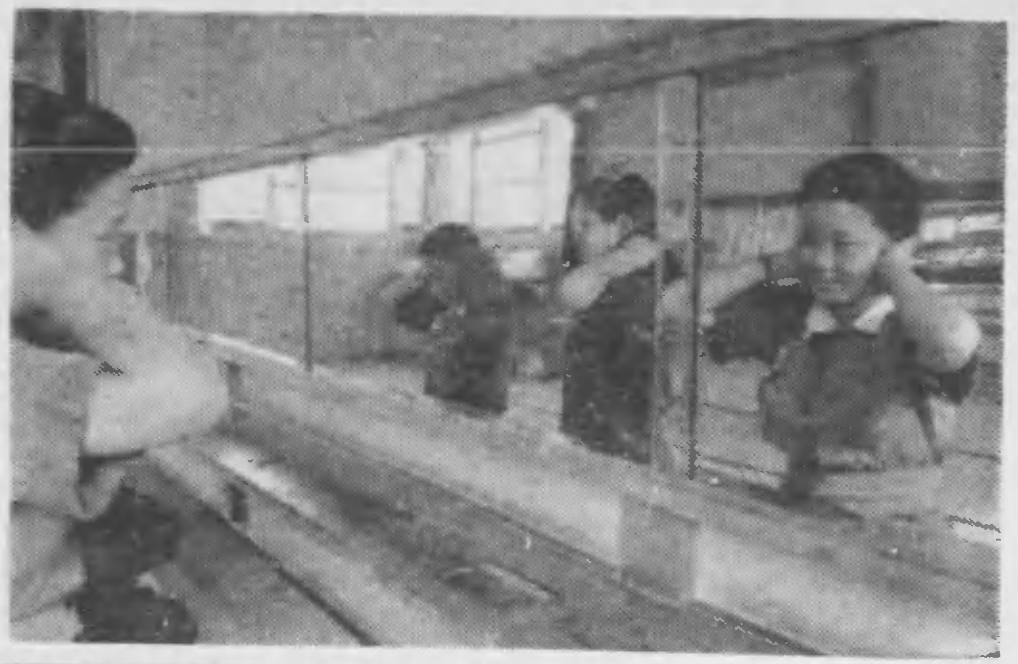
決戰に備へ、増産に突進する各工場では、みなさん方女性の進出を手をひろげて待つてゐます

航空機工業などでは、敵アメリカでさへ三分の二以上を女子が占め、將來は女子の産業となるだらうといはれてゐる位で、女子の性質にうつてつけの産業です。綿密で一つ仕事に倦きず、力のいらない職場があなたたちを待つてゐるのです

いまの工場は、昔のやうな設備の惡い工場ではありません。採光、換氣等の施設も整ひ、料理、裁縫、育兒、音樂等の指導も行はれ、工場

働く女子には 温い思ひやりと設備を

日本精工〇〇工場



⇧ 起床とともに、清潔な化粧室で、きちんと身づくろひするのも女のたしなみ

⬂ 「全員異状ありません」女子だけが自治の寄宿舎に朝の點呼の聲がすがすがしくひびく

⇦ 手にふれぬ細かい仕事、女子ながらお國に役立つうれしさに頬は輝く

※ ※ ※

は働きながら學ぶ勤勞女學校といつてよいほどです

あなたたちが出征と同じ心構へで、お國の戦力を強めるために安心して働けるやうに、作業場、便所、洗面所、更衣所等を男子と別にするとか、冷えないやうにモンペを作業衣にするとか、保健の上からも、風紀の點からも、いろ／＼工夫してゐます。こゝに紹介する工場は女子に對する施設の優秀な工場です

もし、いままで女子のための施設の不完全な工場で、女子工員を今後大いに使ふやうな工場では、お國のために身を捧げて働く女性のために、どうかこの寫眞を參考に大いに設備を改善してあげて下さい

割烹の時間は仕事を忘れて、女の務めにたのしく励む見事な板前ぶり

『手紙が來たわ』―戦地の兄さんから、故郷からの便りにわつと歡聲が湧く

お母のために働いて貰つたお金はお國へ貯金。ふえる貯金も働くよろこび……

眠る資源へ
學校探鑛隊出動す

地下資源開發講習會

—長野縣—

内地にはまだ開發されてゐない幾多の地下資源が眠つてゐる。戰ふ國家が要請する金屬、燃料等を含むこれらの鑛物を開發して、戰力の増強をはかるため、政府ではさきに「地下資源緊急開發措置要綱」を決定し、專門學校教授、學生をはじめ、一般學生生徒、一般人等を動員して重要鑛物發見に擧國的な態勢を立てたが、これに應じて、いち早く長野縣では、郷土の地下資源をできるだけ早く國家のお役に立てようと、縣下男女中等學校百十二校五万三千の學徒を動員し、各學校ごとに擔當地域を定めて大規模な重要鑛物探査、地質調査を行ふことになつた

縣ではまづその準備として資源開發講習會を開き、指導に當る各中等學校の先生達の基礎的な知識を深めたが、地質學的にみて鐵の出さうな古生層と花崗岩、石英粗面岩の接觸部や、マンガンの古生層、第三紀層の凝灰岩、安山岩等、銅、鉛の火成岩と水成岩の接觸部、アンチモンの中生層等の探鑛地帶をもつ同縣下の學校探鑛部隊は、一岩一石にも鋭い眼を光らせ、一切の地下資源を掘り出さうと重疊の山岳に向つて突撃を開始してゐる

⇨郷土の新鑛山に露天掘を見學する

⇦古生層の奥深い秘境、千古斧鉞の入らない原始林を越えて探査の努力がつゞけられる

山頂に立つて重疊たる山々の鑛脈配列を檢討する。山相、山容も新鑛脈發見の手がかりだ

地下資源開發講習會々場

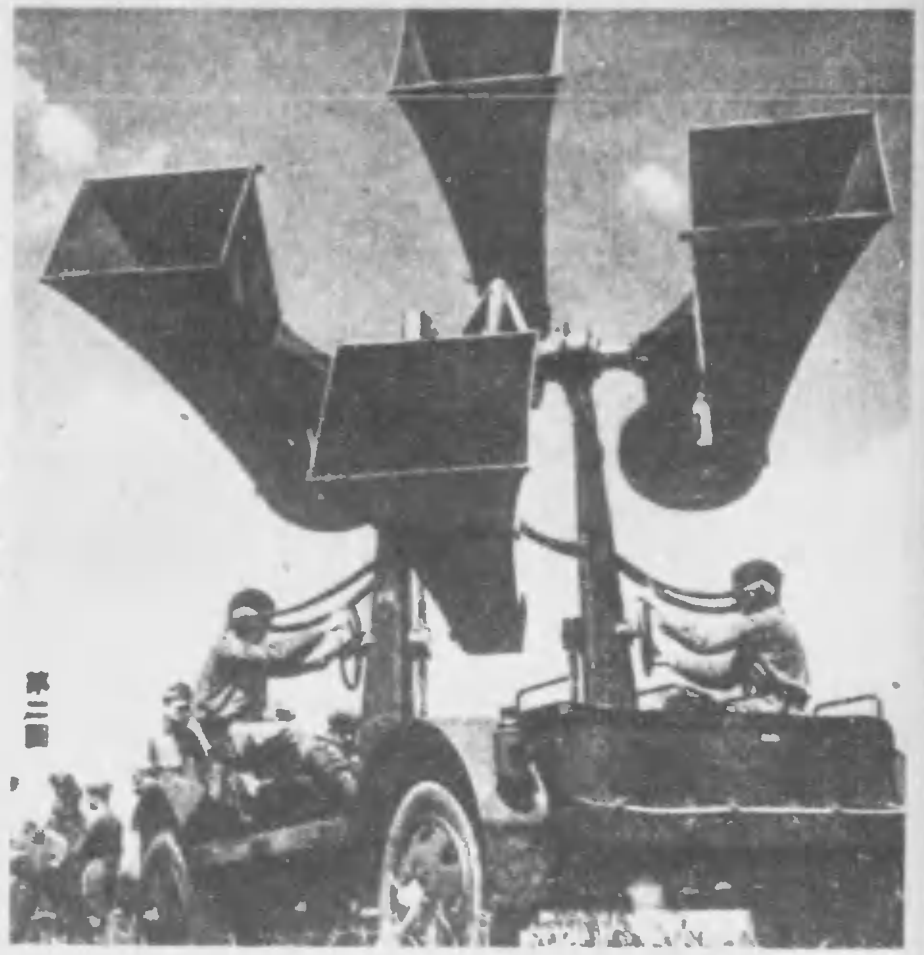
⇧金屬鑛物、非金屬鑛物のめざましい戰時用途の講義に、資源開發の重要さを痛感する先生たち⇩

こゝが秩父古生層、花崗岩が、かう來てゐるから、きつと鐵が見つかるぞ、と地質圖をひろげて埋もれた鑛脈探査を計畫する

下高井郡のヂアスポール、北安曇の無煙炭、宮川鑛山のニッケル鑛と、郷土から發掘された重要鑛物を手にとつて、細かい研究が續けられる

新兵器の科學 2

音源標定機



第二圖

第三圖

音と兵器

空中聽音機

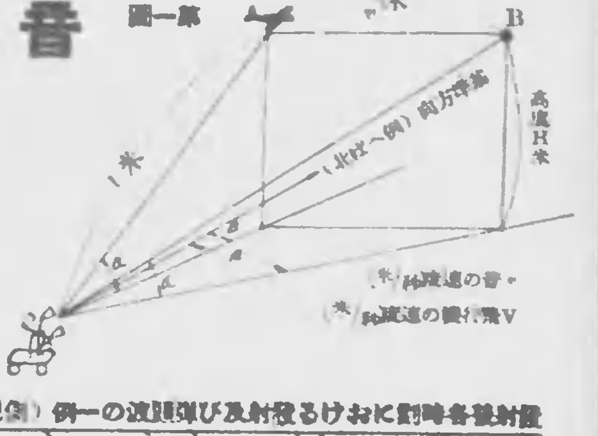
音響兵器の代表的なものは空中聽音機である。聽音機には普通大きな喇叭がついてゐるから、これは飛行機から出る微弱音を擴大するのと思ふであらうが、さうではなくて、聽音機の目的は音波の傳はつてくる方向を、直接耳で聞くよりも精度よく測定し、飛行機の實際位置を決定するために用ひるものである

音源はどうして判定出來るか。 われ〳〵が二つの耳で音を聞けば、それが右から來るか左から來るかを判別できるが、片方の耳を塞げば音源を判定する能力がなくなる。即ち二つの耳がある場合には、各々の耳に達する音波の強さや位相が違ふので、もし音源が右にある時は音が後頭部の右に集つてゐるやうに、また左にある時は頭の左に集つてゐるやうに聞えるのである。この音の集りを音像といつてゐる。即ち音像が後頭部の中央に感ずるやうな位置が音源に正對してゐる位置である

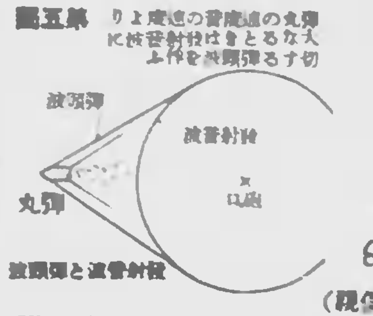
そして、この音源方向の判別は、二つの耳の間隔が大であるほど容易であるから、聽音機では喇叭を用ひて、この二つの喇叭の間隔を一メートルから二メートル位にしてゐる

さて、飛行機の爆音を聞く場合を考へると、第一圖において、飛行機がA點にある時は、A點は高低角（α）と方向角（β）で表はされる。A點から出た爆音が距離lメートルにある聽音機に達するには$\frac{l}{V}$秒を要する。（但しV米/秒を音速とする）即ち聽音機で音を聽いた瞬間には、飛行機が等高、等速（v米/秒）飛行をするものとすれば、既に$\frac{lv}{V}$メートルだけ前方のB點にゐることになる。實際に必要なのはこのB點の位置であるから、聽音機にはこれを計算するための修正機といふものが取付けられて[illegible]ことから、聽音機には方向角測定用の喇叭二つと、高低角測定用の喇叭二つ、合計四箇の喇叭が必要であることが分るであらう

第二圖と第三圖は米、英の代表的聽音機であり、第四圖は、米軍獨特の空中聽音機で、三箇の喇叭を用ひ、その中の一箇は、方向と高低とを兼用してゐるのである



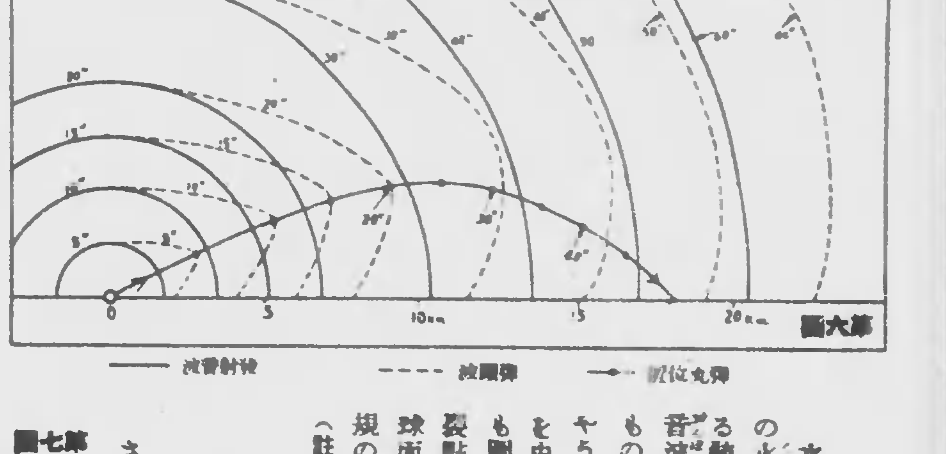
第一圖



第五圖　丸彈の速度が音の速度より大なるときは發射音波に切する彈頭波を伴ふ

發射音波と彈頭波

發射各時刻における發射及び彈頭波の一例（說明）



第六圖

音源標定機

次ぎに音源標定機といふのがある。これは敵の火砲音を利用して、その砲兵陣地の位置を知る裝置である。火砲を發射する時は通常、發射音波、彈頭波、破裂音波及び摩擦音波を生ずるものである。發射音波とは第五、六圖に示したやうに、空氣中における音波速度をもつて砲口を中心として球面狀に傳播するもので、彈頭波も圖によつて明らかであらう。破裂音波は、破裂點を中心として空中における音波速度を以て球面狀に傳播し、摩擦音波は彈丸の後方より不規の波形を以て傳播するものである

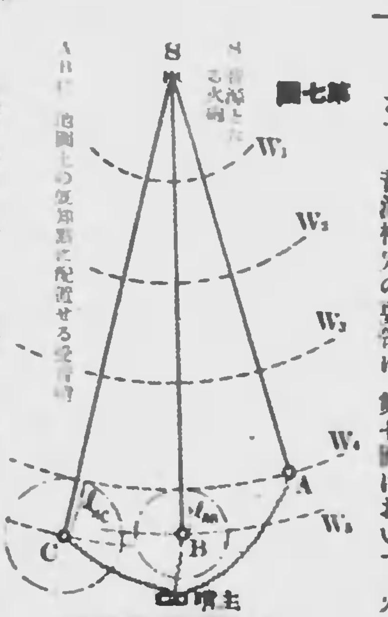
（註）空氣中における音波速度は氣温零度において每秒三三二メートルで、氣温一度を增す每に〇・六メートルを增加する。即ち、例へば氣温九度ならば、その時の音波速度Vメートルは

V＝三三二＋〇・六×九＝三三七・四米

さて、音源標定の要領は、第七圖において、火砲Sからの發射音波が既知座標の三受音哨A、B、Cに達する時間の差、即ち受音秒差を測定し、これに音波速度を乘じ距離差l_{AB} l_{AC}を求め、これを基準として圖解作業により音源位置Sを求めるのである。受音秒差を測定するには、各受音哨に受音器を配置し、往復線によつてこれを主哨の音波記錄機に接續して音波を電流に換へ、なほこれを光に換へて、フィルムに記錄するやうになつてゐる。受音器は第八、九圖のやうなマイクロホン、即ち電話送話器の一種で、音波記錄機は、第十圖に示す要領のものである。即ち受音された音波は電流となつて振動器に導かれ、取付けられた小反射鏡を振動させるから、電動機で常に等速度で繰出されるフィルム上に、この振動波形が記錄されるわけである。この際、又、每秒五十振動をする電磁的音叉により[illegible]曲狀波形が記錄されるから、第十一圖に示すやうに、AB間及びAC間の受音秒差を看讀することができる。このやうにして見出した受音秒差は、測定時の氣象狀態における値であるから、圖解作業に當つては氣温零度、無風時における値に換算せねばならぬ。A、B受音哨にてAが先に受音しその受音秒差をt_{AB}とすれば、音源からA、Bに至る距離差l_{AB}は

l_{AB}＝三三二米×(t_{AB})

である。この時、距離差l_{AB}を有する點は無數にあるが、必ず一本の曲線（幾何學の定理により、二定點よりの距離差が一定なる點の軌跡は双曲線である）上にあるから、l_{AB}が分れば第十二圖の如く双曲線Hを描くことが出來る。又、B、C點についても同様の双曲線が求められるから、結局、第十三圖のやうにH_1、H_2の交點Sを求めれば、これが音源、即ち火砲の位置である。このやうに、受音哨の數は最少限三箇が必要で、多いほど正確にS點を決定することが出來る。又、この裝置によつて記錄した波形により、砲の種類や口徑等も判別できることがある



第七圖

S 音源たる火砲

A B C 三點は圖上の既知點に配置せる受音哨

火砲Sからの發射音波は氣温零度ならば每秒三三二メートルの速度をもつてW₁↓W₂↓W₃とSを中心とし球面狀に傳播しA、B、C受音哨に順次到達す

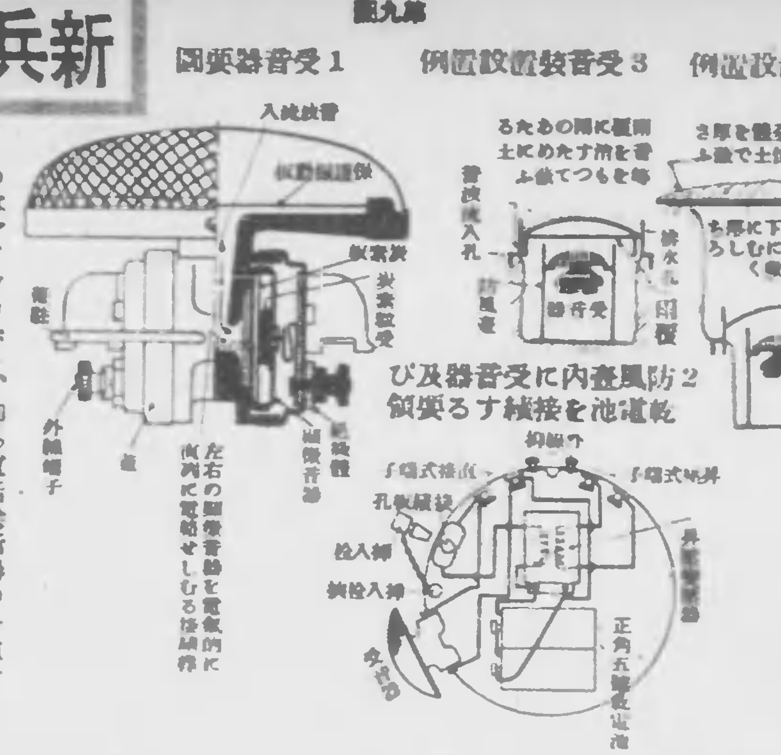
Aに達してよりBに達するまで t_{AB}秒、Aに達してよりCに達するまで t_{AC}秒とすれば

音の速度V米

距離差 $l_{AB}=V\times t_{AB}$米、$l_{AC}=V\times t_{AC}$米なり

即ちS點はAを含みl_{AB} l_{AC}を半徑とするB圓、C圓に切する圓W₀の中心なり

音源標定圖解原理



第九圖

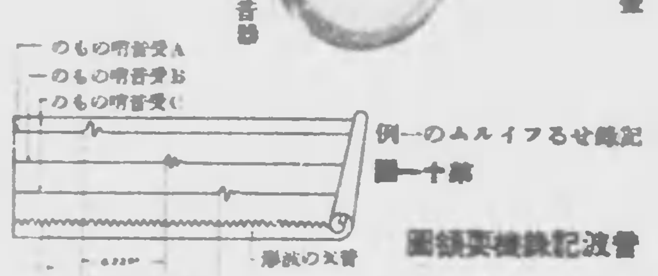
1 受音器要圖

2 防風套內に受音器及び乾電池を接續する要領

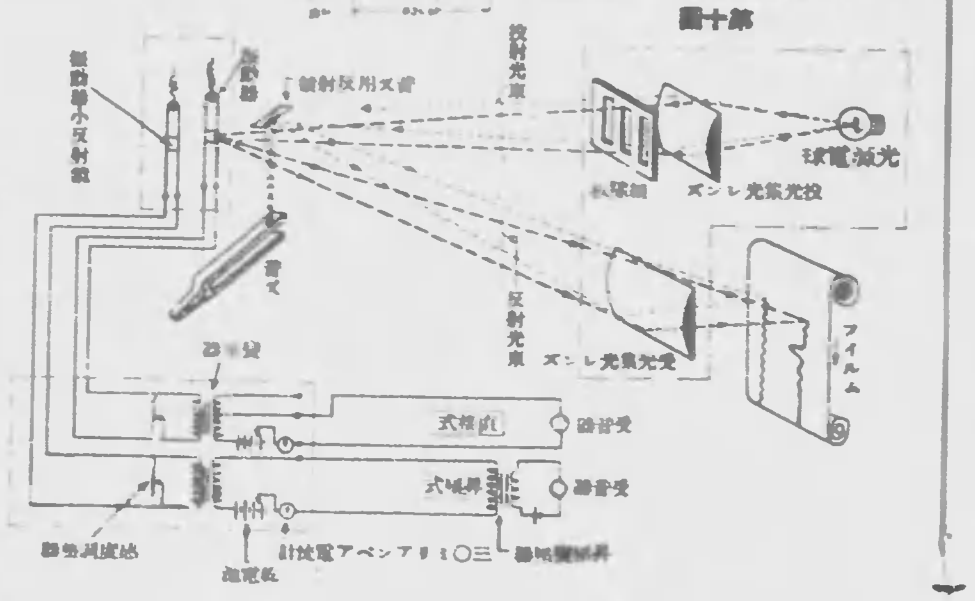
3 受音器設置例

4 受音器設置例

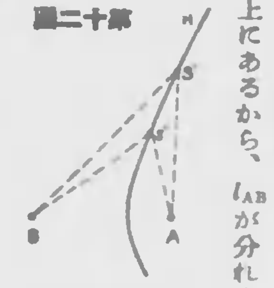
第八圖　受音裝置



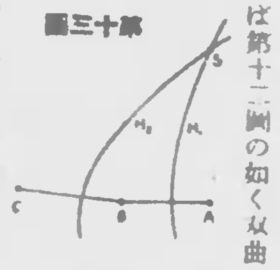
第十一圖　記錄せるフィルムの一例



第十圖　音波記錄裝置要圖



第十二圖



第十三圖

水中の音

音の利用の最も重要なのは、水中の場合である。例へば水を媒質として通信を行ふ場合にも、電磁波や光波は減衰が甚だしいために、音波のみが實用に供し得るのである。しかも、水中音響通信法は潜水中の艦艇にも使用できる唯一の通信方法で、電波の空中線のやうに空爆や砲擊の危險の多い場所に通信機器が露出しないといふ利點があり、又、超音波（振動數が二万回以上で、耳に聽くことの出來ない音波）を用ひて尖銳な指向性を持たせると、通信の秘密度が高くなるといふやうな利點もあるのである

水中の音響を捉へて、他の艦船の方向を探知したり（水中聽音機）、自船の位置を決定したりすることも出來るが、前者には次ぎのやうな方法がある

(1)受音器の指向性を利用する方法

(2)二個の受音器を使つて、それ〳〵の音を左右の耳に導き、且つその中間に遲延裝置といふものを置いて、位相を補償して方向を推定する方法

(3)直線內、或ひは平面內の圓周上、又は球面上に多數の受音器を分布し、それ〳〵の受音器に入つた音を相加へ、感度の極大と位相の補償によつて方向を決定するもので、最も正確な方法である

次ぎに反響測深機といふのは、船舶から海底に向つて音響インパルスを發射し、それが海底で反射して歸つて來る時間を測定して水深を求める方法であるが、近來極めて便利な裝置が續々と現はれてゐる。又、これと同じ原理で、潜水艦等に超音波を發射し、その反射波によつて距離を知ることも出來るわけである。（丁度電波に器によつて飛行機までの距離を求めるのに似てゐる）このやうに、水中における音波、超音波は、恰も空氣中における電波の如く、極めて重要なる役割を果してゐるのである

第四圖

音の未來兵器

次ぎに音の變つた利用を述べよう。例へば、戰場において、將兵に精神的打擊を與へるために、音だけの空襲や砲擊をやつたり、或ひは戰場における各種の音響を記錄、作製し、これを大きなスピーカーを裝置した大凧に取りつけて、夜間敵の方に向つて飛ばし、敵の神經を參らせようといふやうなことも考へられてゐる。又、今次戰爭においてドイツ軍はロンドン爆擊に特殊な音響笛をつけて投下し、或ひは機翼に怪音器を裝置して急降下した等といはれてゐる。このやうに、音波も使ひやうによつては、敵の聽覺を攪亂し、狂氣惑亂を生理的神經に與へるやうな攻擊兵器、音響兵器ともなり得るのである

陸軍兵器行政本部
陸軍兵技中尉　塚原　和夫

アジア歷史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

稲田で鯉の大増産

東京　小田佐太郎

決戦下、食糧の確保に、何んでも無駄のない増産を心掛けませう。ここ、東京都立川市の近郊昭和村では、全村挙つて水田利用の鯉の養魚を思ひたち、稚魚は農林省の手を煩はして実施したところ、どの家でも段当り三貫匁から五貫匁といふ羨ましい収穫で、早速に食膳を賑はしたばかりでなく、残りは不時の食糧に確保しておかうと大喜びです

『ほら、こんなに大きくなつたよ』坊やも楽しい収穫に協力⇩

食膳を賑はした残りは全部養魚池に入れて、不時の食糧にしました⇦

荒鷲に真心こめた贈物⇨

東京　有田智徳

航空日を飾る一億の赤誠を凝集した愛国献納飛行機三百五十七機の献納命名式は、羽田の東京空港で盛大に挙行されましたが、東宝劇団の小夜福子さんは献納機搭乗の荒鷲に、真心こめた鶴ヶ岡八幡宮のお守りつき人形を贈つて勇士たちを励ましました

校庭にも戦闘農園⇩

東京　久米茂

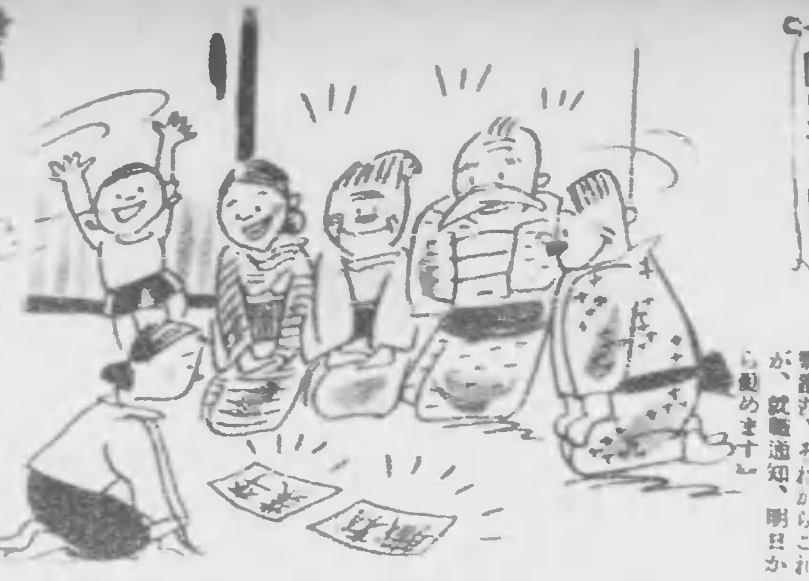
國をあげての食糧増産にボクたちワタシたちも加へて下さいと、神奈川県中郡大野村第二国民学校の児童たちは、先生のよきご指導で、校庭の一部をご覧のやうな戦闘農園にすつかり造りかへ、まづその第一回の収穫として、甲斐々々しい粟の穫入れを行ひました

★表紙

午後からは実習がはじまる。午前の学科で教はつた機械の構造、性能、操作法を生きた機械に向つてのみこみ、操つてゆく喜び、いままでの人生に一度も感じることのできなかつた喜びと驚きと、生産の第一線にかどでする日の希望とを胸一杯に感じながら、戦ふ若い女性たちは今日も一心不乱の実習をつゞける

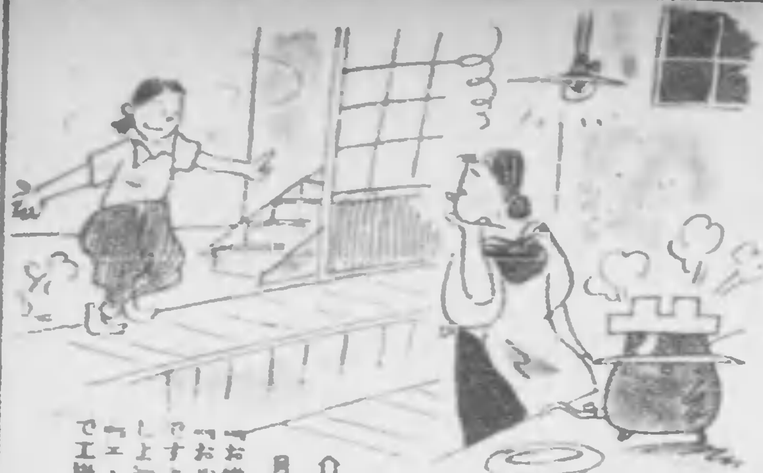
―東京神田橋女子機械工補導所

照準器



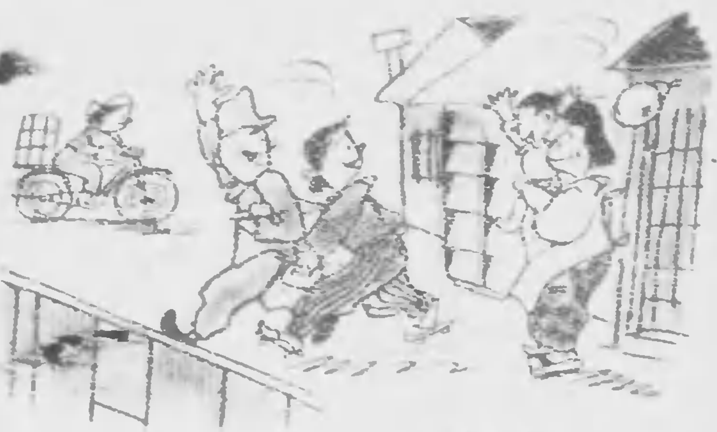
⇦頭でかした

『学校を卒業させて戴きまして、お父さまお母さま、有難うございました。ハイ、これが卒業證書、それからこれが、就職通知、明日から勤めます』



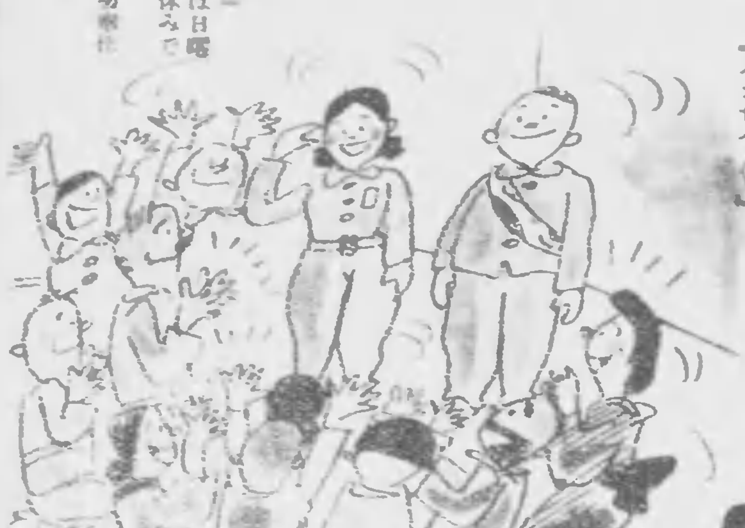
月々金々⇧

『お姉さん、またァ』『おや、お前けふは日曜ですよ、学校はお休みでしよ』『エヽ、だから勤労奉仕で工場へ行くのよ』



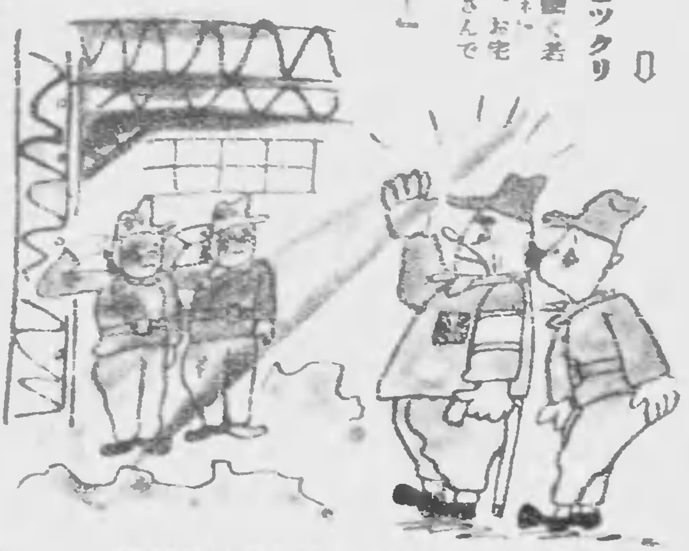
夫と共に

『おばアちやん、坊やをお願ひしますよ』『ハイ〳〵、あとは心配ありませんよねえ坊や、イッテラッチャイ〳〵』



⇦壮行会

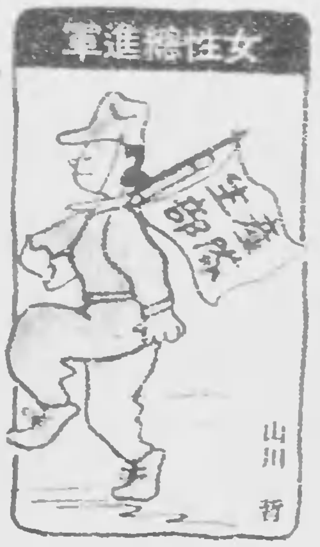
『隣組の皆さん、兄に代つてこの度、私が工場へ勤めますから御安心下さいッ』『バンザイ〳〵』



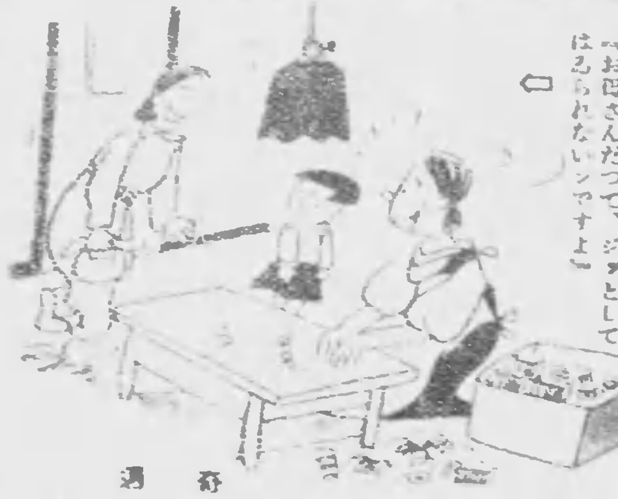
二度ビツクリ⇩

『よく働く若者だねエ』『社長、お宅のお嬢さんですよ』『ギャッ』

女性総進軍



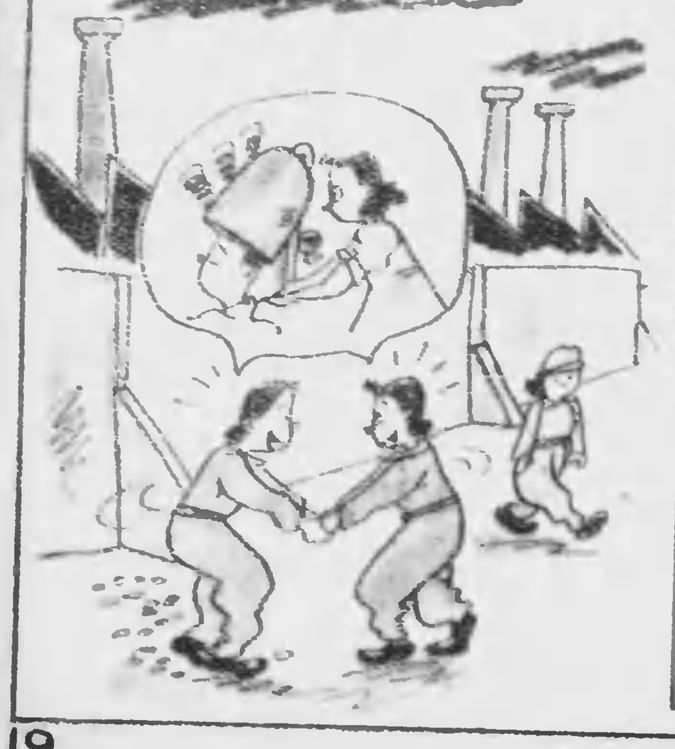
山川行



母もともに⇦

『お母さん、只今ァ』『アラッ？』『お母さんだつて、ジッとしてはゐられないンですよ』

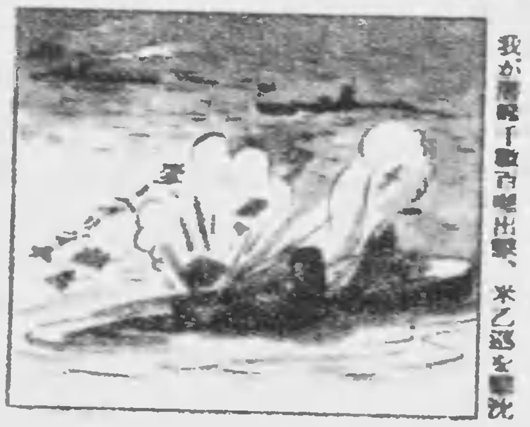
湧谷



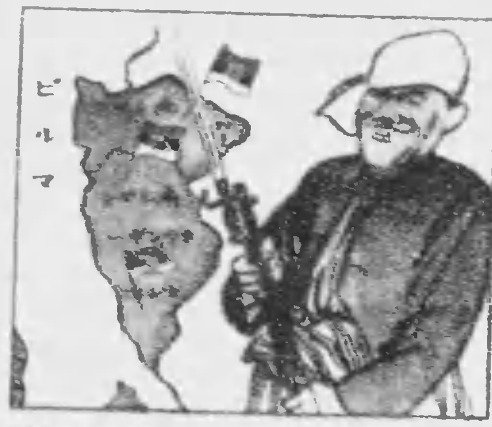
[illegible]⇩

大東亜戦争漫画日誌

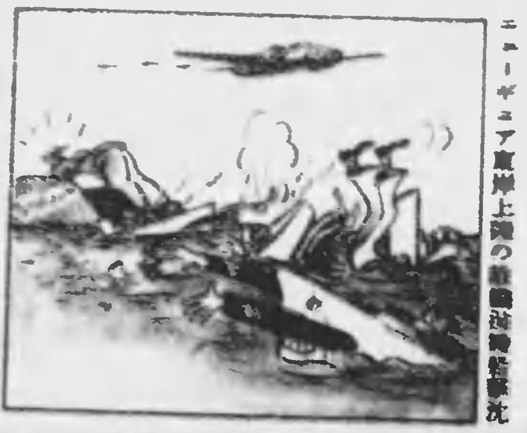
石川進介



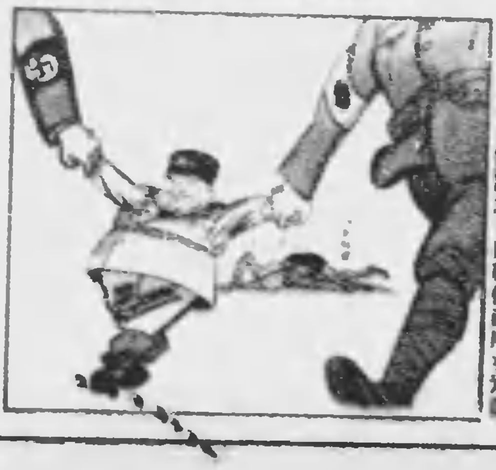
我が海鷲千数百機出撃、米乙巡を撃沈



対日協力の成果、ビルマに新領土編入

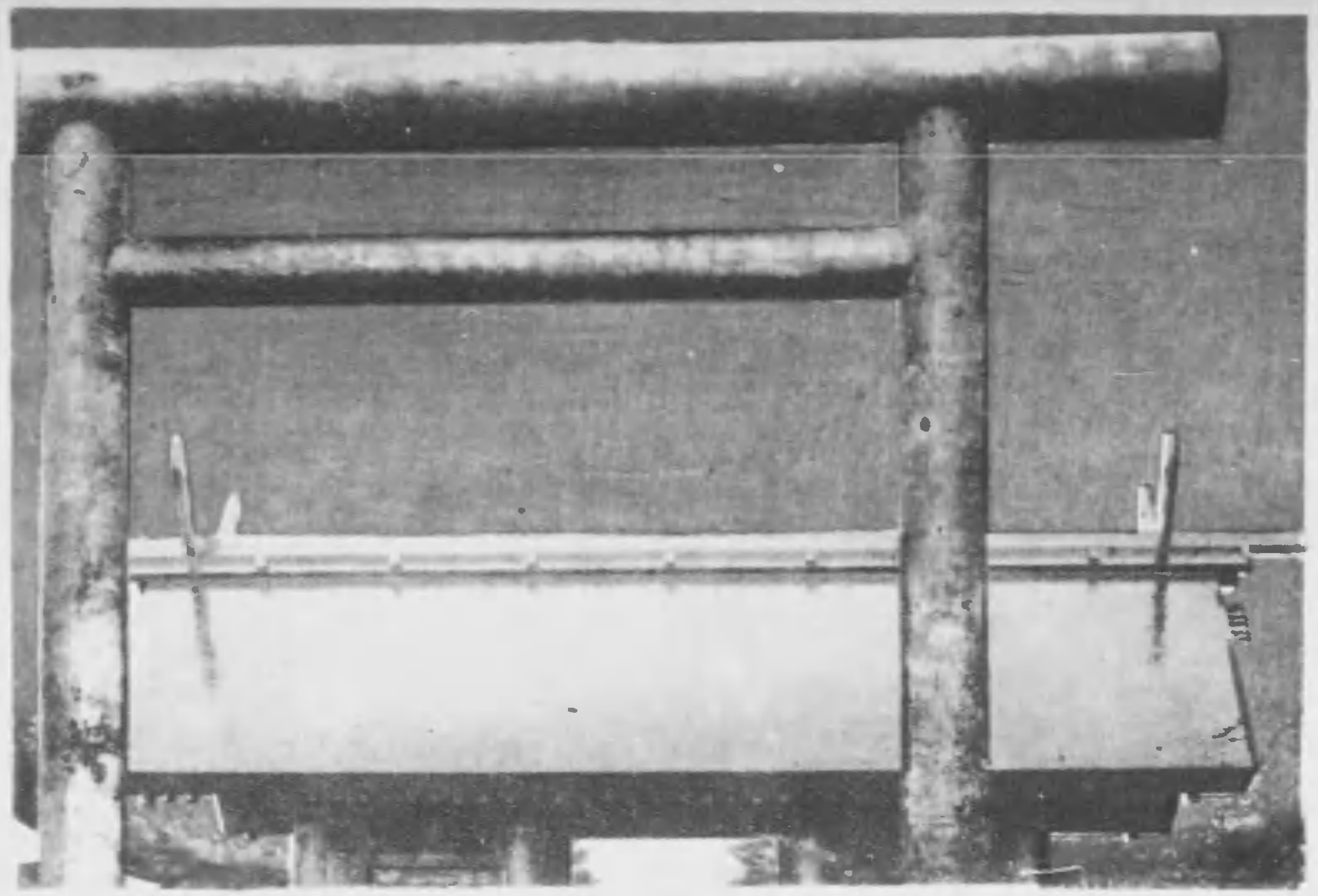


ニューギニア東岸上陸の敵輸送船を撃沈



日独伊同盟記念日に新伊政府を承認

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records



靖國の御靈にこたへよ

國債・債券で

大東亞戰爭國債・貯蓄債券・報國債券

賣出　十月二十日 ⬅ 十一月五日

國債貯金

寫眞週報
（禁無斷轉載）

昭和十八年十月
十[illegible]日　印刷發行
編輯者　情報局
東京市麴町區[illegible]
印刷者 發行者　内閣印刷局
東京市[illegible]町

定價
一部十錢
一送料一錢
（[illegible]）
▲[illegible]申込受けます

申込所
全國各地官報販賣所
書店・雜誌賣店
新聞販賣店
寫眞材料店

[illegible]

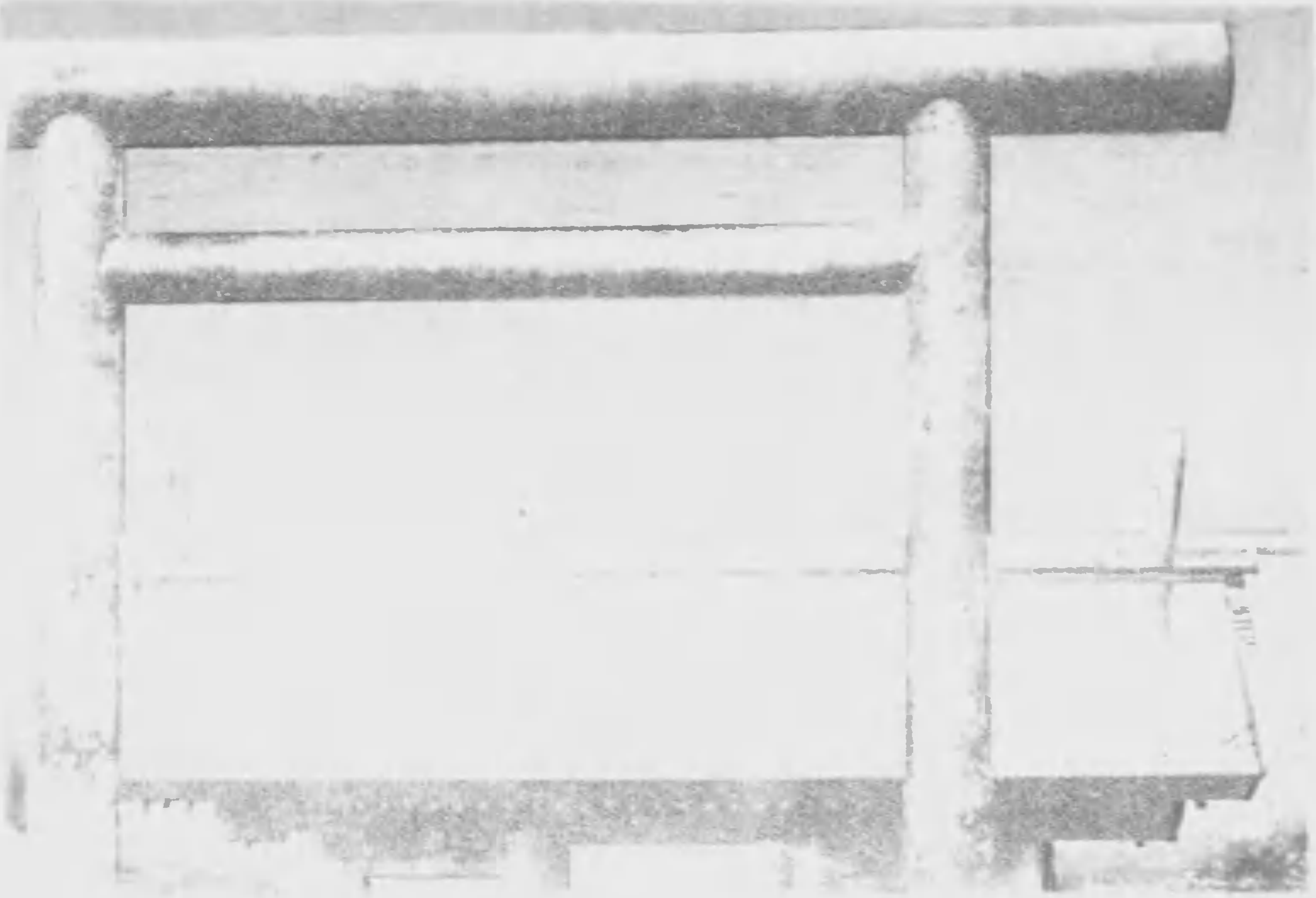
本誌を回覽に
本誌を、隣組や職場で回覽するなど、出來るだけ有効に御利用下さい

前線慰問にも
またお讀みになつた本誌を前線慰問に送りませう、送料は内地と同樣で、帯封あるひは開封にして慰問品と朱記すれば[illegible]です

本誌の大きさは規定のA4判（週刊雜誌）

露光量違いにより重複撮影

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records



靖國の御靈

國債・債券

[illegible]

國債の購入に代る

國債貯金

隣組の割當も國債・債券を買ふ代りに
なるべく國債貯金を利用致しませう！

大藏省